

委員長 青山さん
書記長 炭竈さん
共に再選！
役員の若返りも

第63回定期大会開催

業務執行課題を中心に多分野の課題で討議 運動方針満場一致、新役員選出



↑挨拶に立つ
青山委員長

〓青山副委員長挨拶〓
コロナ禍でも、要求実現目指す

八月二十九日、第二合同庁舎で東海建設支部第六十三回定期大会を開催しました。

大会はコロナ禍での感染予防対策などの制約もありましたが、職場からの教訓や決意表明などの意見で議案が補強され、満場一致で議案採択、新役員（下表参照）を選出しました。

なお、東京でのコロナ感染を踏まえ本部からは連帯のメッセージ（裏面）が寄せられました。

八月二十九日、第二合同庁舎で東海建設支部第六十三回定期大会を開催しました。

大会はコロナ禍での感染予防対策などの制約もありましたが、職場からの教訓や決意表明などの意見で議案が補強され、満場一致で議案採択、新役員（下表参照）を選出しました。

なお、東京でのコロナ感染を踏まえ本部からは連帯のメッセージ（裏面）が寄せられました。

人事院が八月一七日から民間給与実態調査を始めました。WEB開催等の意見もあったが対策をとって通常開催とした。

七月豪雨の他、全国にテックフォース派遣もされている。整備局として五六年ぶりに定員純増、中部でも三名増員されたがまだ十分。職員を増やすため、働き方改革を進める上でも重要となる。職場議論で具体的な要求での運動が重要。

東海建設支部の組織率は一三%となっている。多くの人への加入の訴えが必要。自分自身の処遇も大切だが、国民本位の公共事業推進できる体制拡充を、みんな

2020年度 東海建設支部役員

役 職	氏 名	分 会 名	再・新の別
執行委員長	青山 浩	名 国 分 会	再
執行副委員長	田 口 泰 久	名 国 分 会	再
執行副委員長	橋 本 波 雄	紀 勢 分 会	再
執行副委員長	山 下 仁 司	多 治 見 分 会	再
書記長	炭 竈 康 志	本 局 分 会	再
書記次長	森 浩 久	本 局 分 会	再
執行委員	鈴 木 美 千 雄	静 国 分 会	新
執行委員	加 藤 秀 章	名 国 分 会	再
執行委員	瀬 古 信 広	蓮 分 会	再
執行委員	佐々木 智 史	岐 阜 国 分 会	新
執行委員	宇 田 良 仁	天 だ む 分 会	新
執行委員(青年)	鈴 木 聖 和	愛 国 分 会	新
執行委員(女性)	節 田 真 理 子	名 国 分 会	再
会計監査	堀 川 勝 利	三 重 分 会	再
会計監査	中 森 裕 也	桑 名 分 会	再

〓静岡生公連高橋事務局長挨拶〓 公契約条例前進！一緒に運動を！

本来であれば議長の岩本が来るべきところだが、代理で挨拶する。

静岡県生公連は二〇一〇



↑静岡生公連
高橋事務局

年頃から活動している。ようやく静岡県で公契約条例制定の動きがあり、二月頃には制定されそう。岐阜同様で理念条例であり不十分ではあるが、条例制定後もいろんな運動をしていきたい。中部で残るは三重県のみ。要請に対し、対応者は、議員、組合からも突き上

東海建設支部第 63 回定期大会へのメッセージ

東海建設支部第 63 回定期大会の開催にあたり、建設部門事務局を代表し、あいさつとしてメッセージを送ります。

新型コロナウイルスの感染拡大により、働き方をはじめくらし、生活といった社会全体が大きく変わりました。

超過勤務の上限規制が導入されたものの、サービス残業や隠れ残業が横行するなど実効性を持っていないなかで、新型コロナ対応としてテレワーク・在宅勤務が強力にすすめられました。テレワークは育児や看護、介護など家族的責任をはたすうえや通勤の負担軽減に資するなど一定有効ではあるものの、財界・大企業が労働者を「働かせ放題」にできる制度として推し進めてきたことからすれば、「仕事のオン・オフの切り替えが曖昧」、「上司が勤務時間を正確に把握しづらい」といった問題点は、早くから予想されたものです。テレワークで働き方が変わるという点についても、この間、携帯電話やスマートフォンが仕事に導入されても、いっこうに長時間労働が解消されない、逆に深夜や休日まで災害や事故対応といった緊急的業務でなくても拘束されるようになったことからすれば、新しい制度や設備の導入だけでは、私たちの労働条件が改善されるものではないことを証明しています。

こういったときこそ、労働組合の出番のはずです。低下する組織率・組合員数のもとでは、組合の存在意義を発揮するには運動量を高めなければいけません。会議や行動への参加者も減少しているなか、役員・委員の請負で支部・分会を回しているのが実状ではないでしょうか。コロナ禍により労働組合運動も変わらざるを得ないこともあるかもしれませんが、やるべきことには変わりはありません。むしろ労働者、特に立場の低い労働者が不況のなかで苦しんでいるいまこそ、なかまを支える・助けあうという労働組合の原点に立ち返ることが必要となっています。

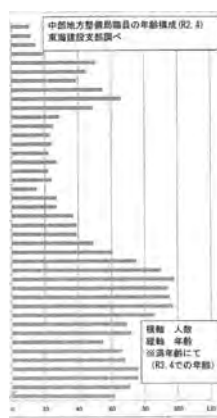
今夏も全国各地で水災害が相次ぎました。テックフォースが各地から派遣されましたが、災害対応で注目されるのではなく、災害を起こさないこと、被害を最小限にとどめることが大事です。また、コロナ禍により広域派遣は受け入れ・送り出しとも困難な状況となっていることから、各地域で対応できる組織・体制整備は、職場の労働環境改善だけでなく、国民の安全・安心のためにも必要です。国土交通省は、相次ぐ水災害に対して、利水ダムを活用した事前放流や遊水地・調節池の整備、浸水エリアでの開発規制や同エリアからの移転・移住などを盛り込んだ「流域治水」を打ち出し、住民の防災への備えや避難意識も重要としています。しかし、インフラ施設・設備や新しい運用策をつくって終わり、後はすべて住民の自己責任にしているというものではありません。非常時に備えて適切に管理し、非常時に正しく運用するためにも、責任ある行政とそれを支える体制が何よりも求められます。そのためには、公務産別だけでなく建設産別、そして地域の諸団体・なかまとの結集も必要です。

「コロナ禍以前に戻す」という発想でなく、コロナ禍以前よりも良い社会にするため、私たちが労働組合に結集して何ができるか、何をしなければいけないかが問われています。代議員のみなさんと支部役員とが本大会で熱い議論で、組合の存在意義と危機的な組織実態を深く理解し、そして組合が職場や地域・産別のなかまから信頼を得て大会翌日から活動を実践していくことを祈念します。ともにがんばりましょう。

2020年8月29日

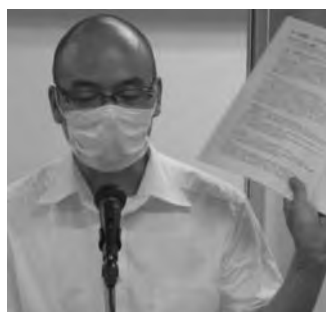
国土交通労働組合
建設部門委員長 古澤 一雄

「建設現場の安全・健康確保」が建設現場の第一である。設計労務費と現場の乖離など相談されて、生公連から助言も受けている。三重も重い腰を上げようとしている。コロナ禍での在宅勤務では、課題も聞いている。中には体調を崩した人もいると聞く。ひどい状況もある。国家公務員の増員・適正配置で現場管理強化、下請け実態の調査をしてもらいたいと要請している。国交労組の皆さんと一緒に運動を進めていきたい。



炭竈書記長からは、中部地整の年齢構成が新採抑制の下いびつな状況（左図）となり、今後の処遇への懸念、若年層への過度な負担への危惧が報告されました。また、コロナ禍で制約

いびつな年齢構成下での処遇の確保
コロナ禍での勤務環境改善を目指す



↑ 活動の提案をする
炭竈書記長

がある中で、今後の運動について職場からの補強意見を求めたほか、一〇月に向け、人勤情勢によってはコロナ禍での勤務環境改善に向けた交渉を配置する旨の新たな提案が行われました。

各職場の意見で議案を補強

在宅勤務の課題が各職場から
メリット・デメリット見定め必要

コロナ禍での在宅勤務課題として、客観的な勤務時間管理が必要、超勤がつけにくい、業務多忙で在宅勤務できていない、在宅勤務者から深夜のメールが届く、普段勤務管理ができていないのに在宅時だけ報告は疑問、仕事にならないので休暇をとる職員が多い、組合としての方針を必要（岐阜国、多治見、静岡、北勢）等の意見が出されました。

係長採用者へのフォローは？
テック派遣で業務停滞等も

その他、職務課題では係長採用者への職場フォローができていない、局長に若い職員の声を届ける必要がある、テック派遣の負担が大きく業務停滞、研修無受講の若手派遣に疑問、パワハラ講習の強化が必要（岐阜国、愛国、三重）等の意見が出されました。

コロナ禍でも必要な活動は工夫を
各職場から活動・拡大の教訓報告

組織の関係では、コロナ禍でも必要な活動は他組織の工夫も取り入れて実施を、組合員・未加入者にア



最後は、青山委員長の「団結頑張ろう」で大会を終えました。大会参加のみなさんお疲れ様でした！



組合費軽減の検討意見も
組織拡大の重要性を確認

財政では、組織対策として組合費の軽減についても意見が出され、財政部での検討と、組織拡大の重要性を確認しました。

議案…満場一致で採択（監査報告
役員…全員信任（信任投票）